

県名	熊本県	商工会名	産山村商工会
事業者名	CafeStand FourSeason		
題名	新業種へのチャレンジ支援と継続的な支援について		



新事業カフェスタンドの店舗外観

氏名	横田 淳
支援テーマ	
☐	創業
☐	経営革新・事業再構築
☐	地域資源活用・新連携
☐	農商工連携・6次産業
☐	販路拡大・販路支援
☐	海外展開・海外販路開拓
☐	事業再生・再チャレンジ
☐	事業承継
☐	ものづくり
☐	雇用・労務関係
☐	資金繰り
☒	持続化補助金
☐	DX・IT化支援
☐	価格転嫁
☐	事業継続計画(BCP)
☒	その他

※複数のテーマ選択可

支援前の課題

産山村でデジタル関連の事業を行っていたが、村内にある水源近くの施設が空いており、ここに飲食店を設けて新規事業を始めたいとの相談があった。
これまで飲食店の経験もなく、既存施設もそのままでは活用できないことから事業所が当初計画していた事業計画は見直しが必要な状態であった。
メニュー開発においても、村内施設を使用することから村内産品を活用した商品を一から作る必要もあり、産山村の有名観光地らしい産山村という土地を感じれるメニュー開発を行っていく必要があった。
とにかく本人は飲食店と地場産品の販売を行いたい気持ちで一杯であったため、その気持ちは大事にしながらかく事業が行えるように支援を行っていきたいと思った。

支援内容

(新規事業開始前)

- ・創業計画書等を用いて自社が提供する価値を確認し、事業計画の作成支援、事業計画の見直しについて複数回の支援を行った。特に販売計画においては客数の見込みが過大であること、商品の提供速度からも実現が難しい部分が散見された。
- ・レジシステム・キャッシュレス決済について相談を受け、情報の提供を行う。

(新規事業開始後)

- ・新しい商品のための機器導入を目指し持続化補助金申請支援を行う。支援中にも材料入手について不安があったため取引先との話し合いを密に行うように支援を行ったが、最終的に取引先都合により入手不能になったため持続化補助金は廃止届の提出を行うこととなった。
- ・商品小売の品目追加の相談を受け、営業届について支援を行う。
- ・飲食部門(本業)と小売部門の経営分析を行うため、レジで部門分けを行う等し、環境を整える支援を行う。
- ・商品開発のために村独自事業の特産品開発補助金への申請支援と実施支援を行う。
- ・SNSによる情報発信の支援

支援の経過

期間	支援内容
R4年11月	既存事業の相談、見直し
R5年9月	新規事業の相談、事業計画策定支援
R6年3月	持続化補助金申請支援
R6年7月	持続化補助金事業実施支援
R6年11月	村補助金申請支援、実施支援

支援内容の感想

事業計画においては、その目標売上を達成するために必要な量・取り組みを分析し、都度の見直しの重要性を感じた。
施設設備や許認可について、相談内容と実施時期に合わせた許認可の取得支援及び改装等のスケジュールの確認が重要である。